

(2025年度入学生用)

2024年度入学者は「2024 STUDENTS' GUIDE 全学教育科目履修の手引」を参照すること。

1. 文学部の授業科目区分ごとの履修基準（卒業要件単位）一覧

(1) 卒業要件単位数

科目区分		必要単位数	履修基準
全学教育科目	「大学での学び」基礎論	1	
	基礎セミナー	2	
	言語文化科目	英語	10
		初修外国語	10 次のうち一つの言語で10単位を修得すること。 ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語 ※外国人留学生は「初修外国語」の代わりに「日本語」を修得してもよい。
		日本語	
	健康・スポーツ科学科目	講義	2
		実習	2
	データ科学科目	講義	1
		演習	1 データ科学基礎演習Aを履修すること。
	アントレプレナーシップ科目	1	
	国際理解科目		4 「現代教養科目（自然系）」又は「現代教養科目（学際・融合系）」2単位を含む4単位を修得すること。
	現代教養科目（自然系）又は（学際・融合系）	2	
	超学部セミナー		
	人文・社会系基礎科目	8	
	小計	42	
学部科目	専門科目		82 「専門基礎科目」2単位を含む、合計82単位以上を修得すること。
	関連専門科目		
	専門基礎科目	2	
	小計	82	
合計		124	

(2) 進級要件単位数

進級判定年次	科目区分	必要単位数	進級できない者の取扱い等
2年次終了時	「大学での学び」基礎論	1	① 2年次に留める。 ② 2年次までの在学年数は、通算6年までとする。 （在学年限(8年)－3～4年次の年数(2年)） ③ 言語文化科目2単位の不足者に限り、仮進級を認める。 ④ ②の通算6年に達しても進級できない者については除籍する。
	基礎セミナー	2	
	言語文化科目	20	
	健康・スポーツ科学科目	4	
	データ科学科目	2	
	アントレプレナーシップ科目	1	
	国際理解科目		
	現代教養科目	2	
	超学部セミナー		
	人文・社会系基礎科目	6	
	専門基礎科目	2	
	計	40	

(3) 履修単位の上限

履修登録単位数の上限設定、緩和条件等は、各学部の学生便覧等で確認してください。

〔重複履修等〕

- (1) 原則として、同一科目を2個以上履修し試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1個しか認められません。
- (2) 言語文化科目については、同一科目であっても複数個が卒業要件単位として認められる科目もあります。

ただし、履修上の制限がありますので、77 ページ以降に掲載してある「履修に関する注意事項」を確認の上、受講してください。

〔言語文化科目の履修基準〕

(1) 英語

卒業要件：必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・ 随意等	備考
英語（サバイバル）	1 単位	I 期	随意科目	プレイスメント・テストにおいてC コースとなった学生が受講します。 この授業に「合格」しないと2年次の「英語」授業を受講できません。 随意科目であり、卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
英語（基礎）	2 単位	I 期	必修科目	
英語（中級）	2 単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（コミュニケーション）	2 単位	Ⅱ期	必修科目	
英語（上級）	2 単位	Ⅲ期	必修科目	
英語（上級リーディング）1	1 単位	Ⅲ期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
英語（上級リーディング）2	1 単位	Ⅳ期	必修科目	
特別英語セミナー（資格試験英語）	2 単位	春学期	随意科目	卒業要件及び進級要件単位としては認められません。
特別英語セミナー（A 類）	2 単位	3 年次 以上		
特別英語セミナー（B 類）	2 単位			
特別英語セミナー（C 類）	2 単位			

(2) 初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）

（初修外国語の1言語については、以下【初修外国語】と表記する。）

卒業要件：1 言語について、必修科目 10 単位

科目名	単位数	開講期	必修・随意等	備考
【初修外国語】基礎 1	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】基礎 2	2 単位	I 期	必修科目	
【初修外国語】初級完成	2 単位	II 期	必修科目	
【初修外国語】中級 1	2 単位	III 期	必修科目	どちらかを複数履修することによっても卒業要件単位となります。
【初修外国語】中級 2	2 単位	IV 期	必修科目	
【初修外国語】中級	2 単位	—	—	中級 1、中級 2 として読み替えることができます。
【初修外国語】上級	2 単位	—		

【初修外国語】基礎 1 及び基礎 2 の単位を修得した段階で、異なる【初修外国語】の言語に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員に相談してください。履修言語の変更が認められた場合は、変更後の言語の【初修外国語】基礎 1、基礎 2、初級完成を履修することにより、言語の変更前と変更後に履修した科目全体をもって、初修外国語の卒業要件及び進級要件をすべて満たしたものと認められます。

変更後のクラスは、学部指定オビ以外のクラスを受講してください。

(3) 英語及び初修外国語の検定試験による単位認定制度

指定された検定試験で所定の認定又は点数を得た場合に、「英語」又は「初修外国語」の単位として認定する制度です。概要及び単位認定制度申請方法等については、89 ページ「検定試験による単位認定制度」を参照してください。

(4) 日本語（外国人留学生のみ）

外国人留学生は、「初修外国語」の代わりに「日本語」を履修することができます。